

ポプラ 倶楽部通信

信大建築同窓会-ポプラ倶楽部-
2004年7月1日 第2号

お知らせ

会費納入のお願い

同窓会発足二年目となる平成15年度は、大勢の方に会費を納めていただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

同窓会の運営費用は、皆様の会費、寄付によって運営されています。有効に使えるよう事務局もがんばります。ご理解とご協力をお願いします。

メーリングリスト

会員への連絡や手軽な相互情報提供の手段として、メーリングリストを開設しています。最新の名簿等もアップしますので是非ご登録ください。

詳しくは、ポプラ倶楽部のメインページをご覧ください。

<http://groups.yahoo.co.jp>

[/group/poplarclub/](http://group/poplarclub/)

名簿について

先生方や新卒業生のお名前も加わり、現在、約600人の名簿が整理されています。まだ、所在不明の方もいらっしゃいますので情報提供をお願いします。

住所等の変更があった場合、事務局までご連絡ください。

ポプラクラブ役員

ポプラクラブは、現在下記メンバーで運営を行っています。

会長：新井浩一

副会長：松林和彦 菅野麻里

幹事：西村正 塩入一臣

想田尚孝 内山卓太郎

芝野茂輝

会計：渡辺芳宏 佐々木武信

会計監査：三浦敦 水寄祐一

顧問：笹川教授 土本教授

事務局

〒381-0052

長野市大字檀田203番地1

新井浩一(会長)宅内

TEL/FAX 026-259-9247

Poplarclub@egroups.co.jp

第3回総会を11月6日東京開催と決定！ 笹川先生退官記念も

2002年の設立から2年を迎えるポプラ倶楽部の第3回総会を、この秋東京にて開催致します。また、本年度で教鞭をとられるのが最後となる笹川教授の退官記念の総会でもあります。東京開催となった最大の理由は、現状、長野を中心として運営しているためか、偏りがちな同窓会組織を、全国に散らばる信大建築出身OBにとって利用しやすい全国の主要拠点で開催することによって、より身近な、情報交換・交流の場とし有効利用して頂けるものにしたいたいということにあります。(今後大阪、名古屋 / も繋げたい)。現在、首都圏在住の有志により東京総会設立委員会を組織し、総会及び、それに合わせて行う見学会の詳細を詰めている真っ最中です(下面)。



東京総会準備状況報告「東京で会いましょう」

軽部正彦(昭和59年入学4期生 独立行政法人 森林総合研究所 勤務)

関東では蒸し暑い梅雨の最中ですが、今年の秋に予定される信大建築同窓会「ポプラ倶楽部」東京総会についてその準備状況などをお知らせします。

ご存知の通り、第1回総会は2002年11月9日(土)長野市のホテル国際21で行われ、70余名の参加がありました。続く第2回は、2003年11月1日(土)に松本・アルペン浅間荘で開催が予定されましたが、参加者が少なかったために、急遽、長野駅前のサンルートホテルに変更し、参加者16名で開催されました。第1回は最初ということもあって人数が多かったようですが、第2回は動員数が伸びず、残念な結果となってしまいました。かく云う軽部も、第1回は家族で参加させていただいたものの、第2回は都合により不参加でした。

今年度の総会は第3回に当たりますが、昭和56年の学科開設に当たって尽力された笹川明先生の退官を控え、また社会に送り出された総勢700名を超える

同窓生の相互交流の拡大を目指して、集合離散に便利な東京の地で開催することになりました。具体的な日程については、笹川先生のご予定を伺い、2004年2月28日(土)に行われた東京近郊在住有志の懇親会で決定されました。またその懇親会の参加者に軽部を加えた8名で実行委員会を発足し、成功を目指して一步一步あゆみを進めているところです。実行委員会に定員はないので、より多くの人の意見を得られるように、各年次一人以上を目指して実行委員を現在も拡大募集中です。

実行委員会では「東京総会の成功は何よりも参加動員数である」と考え、より交通の便がよいところ、話題性のある建物・場所、和やかな雰囲気と妥当な会費などなどを、高い次元で同時に実現できる会場を目指

して選定を進めております。会場形式についても、格式形式ばったモノではなく、同窓の友と語り合える楽しさを最優先に、検討を進めているところです。それから見学会も、一般新聞に載るような話題性ではなく、建築を知るものにとって「行ってみたい」という話題性を持った見学対象を目指して準備中です。近日中には東京総会のご案内をしたいと実行委員全員で頑張っております。

皆さん、東京で会いましょう。





学内の今 - 独立行政法人化を迎えて

山下 恭弘 (教授・学科長)

皆様こんにちは。現在、学科長(主任)をしておりますので、大学、学科の教員(教官)を代表して近況をお知らせいたします。1期生以来続いている今年度の謝恩会では、学科長として挨拶をいたしました。私ども教員は大変喜んで参加させていただいてきた行事のひとつです。そのとき卒業していく彼らに君たちは何期生かを話しました。学部生は20期生なのです。建築工学科(社会開発工学科建築コース)は成人式を迎えたわけです。現在、構造系は、笹川明教授、中込忠男教授、田守助伸一郎教授、五十田博助教授(今年10月赴任)の4名、計画系は土本俊和教授、山口満講師、柳瀬亮太講師、早見洋平助手、梅千野茂央助手の5名、環境系は私と浅野良晴教授、高木直樹助教授、高村秀紀助手の4名です。相変わらず小さな所帯です。

その分を多数の非常勤講師に支えてもらっています。岩井一博氏、原山浩一氏の技官(コース所属ではなく学部技術室所属)の支援もありますし、事務官として松澤宇喜さんに担当してもらっております。教員会議(教官会議)は一昨年できた8階建ての総合実験棟で助手も参加するようになりました。社会開発工学科として、平成10年より建築工学科と土木工学科とが合体して社会開発工学科になりました。学科の定員は95名となり、建築コースは40名ですが、圧倒的に建築希望者が多いため2年次に希望により大体半分に分かれています。今年からタイトルのように信州大学を始めすべての国立大学は国家公務員ではなくなりました。従いまして()内の名で言えなくなりました。学科創設後、順調に修士課程ができ、次に工学系博士課

程の前期博士課程と後期博士課程になりました。そして近く大学院は大規模な改組があります。君らの努力、結束力により2年前に同窓会{ポプラ倶楽部}ができました。創始者の松井教授は5年前に亡くなり、宇佐美教授は定年で去り、松本助教授、田村助教授、岡村教授は転出しました。そして一番古い笹川明教授が来年定年となります。まったく早いものです。私どもにとってはあつという間の感じます。現在、3期生くらいまでの40代が活躍しているところでしょうか。もう書く余裕がなくなりました。独立法人化になってこれからますます大きく変革していきます。どうか母校を見守っててください。それから、皆様のますますのご活躍、ご発展を心より祈念して、近況を書かせていただきました。お元気で。

長野の風景

長野オリンピック開催を境に長野も大きく代わりました。このコーナーでは、わずかですが今の長野の風景をお伝えいたします。



大学に近いオリンピック施設のビックハット、最近木村拓也出演のドラマロケに使われました。



まち中ではダイエーが撤退してしまいました。そこは現在旧建物の取り壊し中です。この敷地にSBC放送局を中心とした再開発建物がH18年に完成します。



志賀高原再訪(スキー合宿に参加して)

唐沢 豊 (昭和56年入学1期生)

2003年12月6日に、現役学生の合宿研修が志賀高原西発噴温泉ホテルで開催されました。例年OBによる講演が行われており、今回は私と藤森伝一氏(8期卒業)が講師として招かれ、70名あまりの中でつたない講演をさせていただきました。

実社会の経験談を講演内容に!という要請を受けて、藤森氏は設計し完成するまでの実務を話され、私は仕事以外の「建築士会活動」を講演しました。講演内容について、学生がどの様に感じたかは定かでは有りませんが、真剣に話を聞いてくれた学生には感謝です。(意外と真面目なのでチョット驚きでした!)

参加してみると、意外とおもしろかったのが正直な感想です。当初は、二廻りも年下の学生と、どの様に接していいものか、開始するまではドキドキものでしたが、静粛な内に講義が終了し、いざ宴会モードに突入するとそんな心配はどこへやら。活気ある建築談義に時間も忘れ、気付いてみると午前3時!.....まだ寝ないの?と云った感じです。世代が違おうとも同じ建築を志した者同

限会社ワイズ創造研究所 勤務)

士、やっぱり通じるものがあります。又、学生のキラキラした目を見て、忘れかけていた「何か」を思い出したりもして、逆に刺激を受けました。

こんな機会がもう少し有っても良いと思います。OBの中には、時間がとれれば合宿研修に聴講生として参加したいと云う人もいます。合宿研修だけで無く、他にもOBと学生の交流の場が持てれば、同窓会としてもオモシロイかなとも思います。ともあれ、おもしろイベントでした。来年は「あなた」が講義してみましょ!

余談ですが、今春我社に2人の新人が入社しました。1人は新卒(ビックリした事に、現名工大の先生で以前信大におられ個人的にも大変お世話になった松本先生の教え子でした。)、1人は卒業後3年目の初々しいスタッフです。彼らと話していると、スキー合宿で交流した後輩達とダブル面が多々有り、新たな刺激を受ける毎日です。いつまで経っても学生時代のキラキラした思いを持って仕事をしたいですね。

藤森伝一 (昭和63年入学8期生)

僭越ながら、2003年12月6・7日、滋賀高原西発噴温泉ホテルにて行われました厚生補導特別企画、いわゆるスキー合宿研修に参加し、卒業生として講義させていただきました。

はじめに、ポプラ倶楽部役員会の内山卓太郎氏(8期生)、当日までの準備手配などありがとうございました。お陰様で、円滑な講義と活気ある交流(コンパ)を行うことができました。

卒業してから10年余り、建築業界の様相も随分と変わり、世代の隔たりを思うと、参加には多少の不安もありました。しかし、雪の志賀高原の冷気を肌で感じ、在校生と、講義、

藤森伝一建築設計事務所 主宰)

コンパと話を重ねるにつれて、当時とあまり変わらないことに気付きました。学生諸君は、同窓先達から見た社会の様子を知りたがっています。そして、自らの道を模索しています。同窓会の名簿を拝見すると、先輩後輩諸氏は、実に多種多様にご活躍です。ご一緒させて頂いた唐沢豊氏(1期生)の講義は大変勉強になりました。

ポプラ倶楽部の皆様も、是非、スキー合宿研修へ参加して頂き、学生に社会の様子を伝えるとともに、一石を投じて応援して来ていただきたいと存じます。

